

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（書写）

No. 1

調査研究の観点	所 見	
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く姿勢については、ポイントがしっかりと明示されている。</li> <li>○ 硬筆、毛筆共に発達段階を考慮しながら書写の基礎・基本を反復しながら練習できるようになっている。</li> <li>○ 毛筆の入門期では、観点別に分かりやすく丁寧に説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く姿勢では、ポイントが明示されている。鉛筆の持ち方について、やや理解しにくいところがある。</li> <li>○ 毛筆で学んだことを硬筆の学習にも生かせる内容が各所に盛り込まれており、繰り返し基礎基本を学習できる。</li> <li>○ 毛筆の入門期では、観点別に丁寧に分かりやすく説明している。</li> </ul>
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の構成が、「見つけよう」「たしかめよう」「生かさう」「話し合おう」「広げよう」という構成になっている。</li> <li>○ 生活に広げようとして、名前の書き方、日記の書き方、連絡帳の書き方、生活科カードの書き方、手紙の書き方、原稿用紙の書き方、理科カード、ノートの書き方、新聞の書き方、リーフレットの書き方、メモの取り方、ポスターの書き方が載っていて、書写で学んだことを生活の中に生かすページがある。</li> <li>○ 第1・2学年の巻末には、水書用紙がついている。</li> <li>○ 書写のかぎとして、今までの学習で学んだ大事なポイントが巻末に載っていたり、各ページの左側にインデックスとして載っていたりする。</li> <li>○ インターネットを使用した学習ができるページがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の進め方は、「たしかめてかこう」「かんがえてかこう」「いかしてかこう」「ふりかえろう」になっている。</li> <li>○ 「しょしゃのじりょうかん」として、巻末に文字表や原稿用紙、はがき、手紙、ポスター、新聞、表やグラフの書き方、都道府県名（4年以上全）などが載っている。</li> <li>○ 教科書の冒頭に全学年で学習した復習が載っている。（第1・3学年以外）</li> <li>○ 低学年には、課題の発見を助ける「書き方のカギ」シールがついている。</li> <li>○ 「書き方のカギ」というマークがあり、書けるようになるための見方・考え方が掲載されている。</li> </ul>
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆の教科書では、文字を書く姿勢について、短い言葉を用いた合言葉が書かれていて、覚えやすい表現となっている。</li> <li>○ 書写のかぎのページでは、文字例や問いかけの文で、課題への気付きが促される表現となっている。</li> <li>○ AB判である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 字を書くよい姿勢については、児童が覚えやすいように合言葉で書かれている。</li> <li>○ 硬筆の教科書の「かきかたのカギ」が、おれ、おりかえし、まがりのちがいについて分かりやすく表記されている。</li> <li>○ B5判である。</li> </ul>
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の裏表紙に、保護者に向けて教科書のポイントが書かれている。</li> <li>○ 第1学年では、目次が教科書の初めの方に記載されている。</li> <li>○ 第3学年では、目次における漢字の振り仮名が多めに設定されている。</li> <li>○ 第3学年から第6学年で、「学習の進め方」「筆の持ち方や姿勢」について記載がある。</li> <li>○ 第2学年では、文字を書き込めるページがたくさんある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の裏表紙に、保護者に向けて教科書のポイントの他に、身に付く力について単元ごとの説明も書かれている。</li> <li>○ 第1学年では、巻頭に簡単な漢字が記載されている。</li> <li>○ 第6学年では、「生活に広げよう」「学びを深めよう」といったページがある。</li> <li>○ 第3学年から第6学年で、毛筆学習の初めに知っておくべきポイントが示されている。</li> <li>○ 第2学年の教科書では、文字を書き込めるページがたくさんある。</li> </ul>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（書写）

No. 2

調査研究の観点	所 見	
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く姿勢については、ポイントがしっかりと明示されている。鉛筆の説明に箸の例示がされている。</li> <li>○ 日常生活で学んだことが生かせるような作りになっている。硬筆と毛筆での関連が図られている。</li> <li>○ 毛筆の入門期では、観点別に丁寧に分かりやすく説明しており、コンパクトにまとめられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く姿勢では、ポイントが明示されている。鉛筆の持ち方についての確認も繰り返しある。</li> <li>○ 日常でどのように生かすことができるか資料を載せている。</li> <li>○ 毛筆の入門期では、観点別に丁寧に分かりやすく説明している。</li> </ul>
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の巻末には水書用紙が付いている。</li> <li>○ 学習の進め方は、「めあてを確かめよう」「ためし書きをしよう」「文字をよく見て考えよう」「書き方を確かめながら練習しよう」「まとめ書きをしよう」「他の文字でも確かめよう」「ふりかえろう」「生活にいかそう」という流れになっている。</li> <li>○ 「レッツ・トライ」として、生活の中に生かすページが途中にある。（はがき、メモ、ノート、作文、カード、俳句、短歌、かるた、ポスター、リーフレット）</li> <li>○ 第4学年以上は、前年までの既習事項とその学年で学ぶことが1ページにまとめて載っている。</li> <li>○ まなびリンクとして、ウェブサイトでの学習の役立つ情報を見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の巻末には水書用紙が付いている。</li> <li>○ 学習の進め方は、「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」になっている。</li> <li>○ 巻末に、その学年で学んだことが1ページでまとめられている。</li> <li>○ 生活に生かすという内容として、手紙、連絡帳、ノート、リーフレット、短歌、新聞、ポスター、古文、原稿用紙、英語、招待状の書き方が載っている。</li> <li>○ 第3学年では、書写の「たしかめようシール」が付いている。</li> <li>○ 第6学年では、「書写ブック」として、今までに習ったことを日常の中に生かすというページがある。（横書き、原稿用紙、手紙、はがき、新聞、ポスター）</li> </ul>
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆の教科書では、よい姿勢、鉛筆の持ち方について児童が覚えて楽しんで取り組みやすい合言葉が書かれている。</li> <li>○ 「運筆のリズム」を体感させるため、「とん、すうっ、ぴたっ」と覚えやすい言葉で書写の体操が書かれている。</li> <li>○ B5判である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢、筆記具の持ち方が学習習慣として定着するよう、児童に親しまれやすい合言葉が載っている。</li> <li>○ 第2学年以上の教科書では、学習のポイントが一目で分かりやすい「たいせつ」が設定されている。</li> <li>○ 姿勢、筆記具の持ち方が学習習慣として定着するよう、覚えやすい表現の「書写体操」が載っている。</li> <li>○ B5判である。</li> </ul>
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の裏表紙に、保護者に向けて教科書のポイントが書かれている。</li> <li>○ 裏表紙に、鉛筆の正しい持ち方が記載されている。</li> <li>○ 第3学年では、目次における漢字の振り仮名が多めに設定されている。</li> <li>○ 第3学年から第6学年で、「学習の進め方」「筆の持ち方や姿勢」について記載がある。</li> <li>○ 第2学年では、文字を書き込めるページがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の裏表紙に、保護者に向けて教科書のポイントが書かれている。</li> <li>○ 第1学年では、2ページを使って簡単な書写体操が絵付きで記載されている。</li> <li>○ 第3学年から第6学年で、「学習の進め方」「筆の持ち方や姿勢」について記載がある</li> <li>○ 第2学年では、文字を書き込めるページがたくさんある。</li> <li>○ 教科書の中にQRコードがあり、学習の助けとなる資料が載っている。</li> </ul>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 書写 ）

No. 3

調査研究の観点	所 見	
	発行者（ 日本文教出版 ） 発行者番号（ 116 ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書く姿勢では、ポイントが明示されている。鉛筆の持ち方についての箇所も文字が強調されている。</li> <li>○ 日常生活だけでなく、国語の「書くこと」の内容とも関連付くような資料があるが、国語教科書を発刊していないため、つながりはない。</li> <li>○ 毛筆の入門期では、観点別に丁寧に分かりやすく説明している。</li> </ul>	
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1・2学年の学習の進め方は、「考える」「確かめる」「いかす」になっている。</li> <li>○ 第3学年以上の学習の進め方は、「ためし書きをする」「考える」「確かめる」「まとめ書きをする」「いかす」「ふり返る」という流れになっている。</li> <li>○ 第2学年以上の表紙の裏側には、各学年の目標が明記されている。</li> <li>○ 生活に生かす内容として、絵日記、横書き、はがき、スピーチ原稿、原稿用紙、連絡帳、観察記録、新聞、手紙、本の紹介、提案文、エメール、掲示物、俳句などが掲載されている。</li> <li>○ 第1・2学年の巻末には、水書きシートが付いている。</li> <li>○ ホームページに学習の参考になる動画が載っている。</li> </ul>	
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 硬筆の教科書では、書く姿勢の合言葉が分かりやすい表現で書かれている。</li> <li>○ 文字を正しく整えて書くためのポイントが分かりやすい表現でまとめられている。</li> <li>○ 日本語の美しさ、手書きの意義、用具を大切にすることを養うための資料等がある。</li> <li>○ B5判である。</li> </ul>	
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノートや手紙の書き方など、日常の生活に生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 第3学年から第6学年で、「筆の持ち方や姿勢」について記載がある。</li> <li>○ 第1・2学年で、「鉛筆の持ち方や姿勢」について記載がある。</li> <li>○ 第2学年では、文字を書き込めるページがある。</li> </ul>	